

学園長のメッセージ



先日の音楽会、とても素敵でした。子どもたちにとって、「音楽」が「音苦」にならないように楽しんでほしい。上手とか、良い出来だとか、完成度は求めてはいけない・・・などと言っているのですが、住の江幼稚園の子どもたちはそれぞれのクラスの個性が出て、とても迫力がありました。特にラストの年長合同演奏のレベルの高いこと・・・。そのすばらしい演奏を聴いていると、ついつい指導に熱が入ってしまいます。彼らは教えれば応えるだけの能力があるの

だから・・・。でも、それが過度な教え込みになってしまわないか・・・。

常に自分（担任）に問いかけてね！！と言っているのです。

この前、他園の公開保育での研修会のことなのですが、子どもの活動で担任が「楽しんで活動していた。」などと記録していたのですが、ある講師が「本当に子どもは楽しんでいたのか？」との問いに、別の先生が「では、その判断はどこですか？」の質問で議論が盛り上がり、結論として「常に本当にそうだったか？」と自分に問いかける心がけが大切であり、必要だということになりました。

これは今で言う「自己点検・自己評価」ということへの第一歩だと思うのです。その自分への問いかけを職員一同が大切にしながら、今後も保育していきたいと考えています。